Cláudio Soares

Piano Recital

クラウディオ　ソアレス　ピアノリサイタル

Program

J.ハイドン／ピアノソナタ ヘ長調 Hob.XVI:23
J. Haydn / Piano Sonata F Dur Hob.XVI:23

R. シューマン／交響的練習曲 作品13
R. Schumann / Symphonic Etudes op.13

L.ミゲス／ヴァイオリンとピアノの為のソナタ 作品14
L.Miguez / Sonata for Violin and Piano op.14

2015.6.12.fri

19:00開演（18:30開場）

あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール

大阪市北区西天満 4-15-10
あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー内

入場料 前売／¥4,000（当日／¥4,500）

チケット申し込み・お問い合わせ
堺ピアノ協会事務局　TEL&FAX：072-291-2635
e-mail：sakai-piano-kyokai@smile.ocn.ne.jp
ザ・フェニックスホール チケットセンター　TEL：06-6363-7999（土日祝を除く平日の10時～17時）

クラウディオ・ソアレス
Cláudio Soares

リオ・デ・ジャネイロ国立音楽大学卒業後、ドイツ政府交換留学生として渡独。ハノーファー国立音楽大学でH.ライグラフ氏に、その後ハンブルク国立音楽大学にてY.ペルネッテ氏に師事。<ナット・ヘン>と<ギオマル・ノヴァイス>コンクールにて第3位銅メダル入賞。ブラジル、ドイツ、スイス、チェコ、日本各地でラジオ録音、テレビ出演、リサイタル、コンチェルト、デュオ等、幅広く活躍。1983年来日以来、教育活動にも力を注ぎ、コンクール受賞者を多数育てている。PTNAのトヨタ賞と指導者賞を数回受賞。堺国際ピアノコンクールを創設。著書に「演奏と指導のハンドブック」「バッハ演奏と指導のハンドブック」（（株）ヤマハミュージックメディア）がある。現在、大阪音楽大学特任教授、同志社女子大学、（財）ヤマハ音楽振興会講師。堺ピアノ協会主宰。

クラウディオ・クルス
Claudio Cruz

ヴァイオリン職人の父ジョアン・クルスからヴァイオリンの手ほどきを受け、その後、E.レニガーに師事。アマゾニア弦楽四重奏団を結成し、第1ヴァイオリン奏者となる。2002年アストール・ピアゾラの曲を録音し、グラミー・アワード賞受賞。サンパウロ交響楽団では1990から2012年までコンサートマスターを務める。さらにヴィラ・ロボス室内管弦楽団、リベイランプレート交響楽団、カンピーナス交響楽団の主席指揮者を務める。また、指揮者としては、ブラジル国内の全ての交響楽団を指揮、また最近ではオペラの指揮でも活躍している。現在、カンピーナス交響楽団主席指揮者、サンパウロユースオーケストラの主席指揮者及び芸術監督、クリティーバ音楽祭の芸術監督。